

研修目的

消化器疾患の病態を理解し、診断および治療計画を立案することが可能となる知識を習得するとともに患者満足度の高い診療を目指す姿勢を体得する。

習得できるアウトカム（能力）

1) 必ず習得できるアウトカム（能力）

※習得することで診療科の研修を修了できます。習得できていないと評価を受けた場合は、研修期間が延長となります。

- A. 医師としての基本的価値観（プロフェッショナリズム）
 - ・患者の身になって、共感的態度で接することができる
 - ・患者やその家族に信頼されるような姿勢、態度で接することができる
- B. 資質・能力
 - ・退院サマリーを作成できる
 - ・カンファランスで症例提示を行うことができる
 - ・患者、患者家族、コメディカルとコミュニケーションをとることができる
- C. 基本的診療業務
 - ・問診で、病状以外にも社会的背景を聞くことができる

2) 研修医の意向により習得できるアウトカム（能力）

- A. 医師としての基本的価値観（プロフェッショナリズム）
 - ・患者一人一人の価値観、負担に配慮した、社会資源利用などのサポート計画を立案できる
- B. 資質・能力
 - ・学会発表や論文作成ができる
- C. 基本的診療業務
 - ・指導医とともに上下部内視鏡検査を行い、胃管、イレウスチューブの挿入と管理ができる。

具体的な指導方法・フィードバック方法（研修方略）

- ・検査、手技は、指導医の指導下で血管穿刺用シミュレータ、内視鏡検査用シミュレータなど用いた練習で基本操作を習得した上で、主に入院患者を対象に検査、手技を経験する。
- ・医療面接法、診察手技はロールプレイング、シミュレーションの後、実際に指導医が行っている診療を見学し、自らも可能となるよう努力する。
- ・個々の患者の診察や検査結果の解釈を指導医とともにに行い、共に診療方針を立案する。
- ・病棟、外来において指導医とともに回診を行うことや、病状説明に同席することにより、患者やその家族、さらに医療スタッフとの良好な関係の築き方を学ぶ。
- ・各種カンファレンスに参加し、個々の消化器疾患の病態を理解し診断・治療計画を学習する。

週間予定表

	午前	午後	夕方
月	9:00～12:00 外来診療 上下部内視鏡 胆膵超音波内視鏡	13:00～16:00 上下部治療内視鏡 膵胆道内視鏡	16:00～16:30 夕回診 16:30～17:15 術前カンファレンス
火	9:00～12:00 外来診療 上下部内視鏡 胆膵超音波内視鏡	13:00～16:30 上部治療内視鏡 膵胆道内視鏡 肝臓治療	16:30～17:15 夕回診

水	9:00～12:00 外来診療 上下部内視鏡 胆膵超音波内視鏡	13:00～16:30 上下部治療内視鏡 膵胆道内視鏡	16:30～17:15 夕回診
木	9:00～12:00 外来診療 上下部内視鏡 胆膵超音波内視鏡	13:00～16:00 下部治療内視鏡 膵胆道内視鏡	16:00～16:30 夕回診 16:30～17:15 術後病理カンファレンス (隔週)
金	9:00～12:00 外来診療 上下部内視鏡 胆膵超音波内視鏡	13:00～14:00 病棟回診	14:00～15:00 内視鏡カンファレンス、 16:30～17:15 カンファレンス

指導責任者および指導医

指導責任者： 佐藤 賢一（消化器内科科長）

指導医： 廣田 衛久

〃： 小暮 高之

〃： 遠藤 克哉

〃： 福士 大介

〃： 小岩井 昭信

〃： 吉野 祐貴

学会発表・論文作成に対する指導体制

指導医とともに経験した症例についてのまとめを研修医発表会、さらに貴重な症例は学会などに積極的に発表させる。発表のための文献検索、スライド作製などの具体的な作業を含め複数の指導医が発表のための指導を行う。